

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1

	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /
	入院日	2 日目～7 日目（EPOCH 療法）	8 日目～13 日目	14 日目～15 日目
目標 毎日看護師と評価します	- 全身状態に問題がない。 - 日常生活の注意点について理解できる - 感染予防行動がとれる	- 全身状態に問題がない - 副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる - 感染予防行動がとれる	- 全身状態に問題がない。 - 副作用症状について理解でき、対処行動がわかる - 感染予防行動がとれる	- 全身状態に問題がない。 - 発熱なく感染徴候がみられない - 退院後の生活について不安がない
内服 注射	自宅で内服していた薬は、薬剤師が確認するため一度お預かりします	- 点滴治療のスケジュールは別紙を参照してください - プレドニンの内服または点滴が 5 日間あります - 体重増加時、利尿剤を注射します	退院基準：発熱や嘔気などの副作用がない。	
検査	- 採血をします。 - 身長体重を測定します 	- 退院まで毎日、体重測定をお願いします - 採血を行う場合があります。その都度お伝えします。		
処置	点滴の管がない時には、治療前日に点滴の管を入れることがあります。			
食事 飲水	- 吐き気があるときや食欲が無い時はお知らせください。 - 抗がん剤治療の日は水分を 1L 程度とってください。			
清潔		5 日間 24 時間の点滴がありますが、点滴を一時的に止めてシャワーに入ることができます ※点滴の管は保護が必要です シャワー時間は看護師に相談してください		
排泄	入院中は朝 6 時から翌朝 6 時まで 24 時間ごと排泄回数をカウントしてください	- 抗がん剤投与開始後から終了後 48 時間までは座って排泄をし、蓋をして 2 回流すようにしてください - 副作用で便秘になりやすいのでお薬で調整が必要な場合もあります 6 時と 16 時に体重を測定します。基準値の体重より体重が増えた場合は利尿剤を注射します。基準値は決定したらお知らせします		
安静 活動	制限はありません	- 点滴中は輸液ポンプを使用します。できるだけ病棟内でお過ごしください - 副作用で不眠になることがあります 薬をお渡ししますので相談してください	制限ありませんが、ステロイドの離脱症状により、倦怠感や脱力感がみられることがあります※歩行時は転倒に注意し、症状がある場合には看護師にお知らせ下さい	
説明 指導	- 医師、看護師、薬剤師から説明があります - 日常生活の注意点や感染予防行動について説明します 	①抗がん剤投与後 48 時間までは尿や便に抗がん剤が排泄されます そのため、衣類やシーツなどが汚染した場合は看護師までお知らせください ②副作用について一緒に確認します。次のような症状があるときにはお知らせ下さい - プレドニンの副作用による不眠、気分高揚、便秘 - 点滴刺入部の痛み、赤み、腫れがあるとき ③輸液ポンプ使用中は機械のアラームがなったらナースコールでお知らせ下さい ④プレドニンの内服終了翌日や 2 日目にステロイドのリバウンド症状（だるさ、脱力感、眠気、胃のむかつきなど）を感じることがあります 転倒に注意し屈んだり、落ちた物は拾わないようにお願いします		①化学療法後の生活の注意点や感染予防行動について説明します ②退院日には退院薬をお渡しします 次回入院日、または次回外来受診日をお伝えします 1 階で精算して頂き退院となります

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります